

“アジア共・進化” リーダーズフォーラム

“実際の参加者の声”

- 参加した当初は研究テーマと弊社現状ビジネスとの距離感にとまどいましたが、講義、フィールドワークを経て、いろいろな視点で考えることの重要性を学ぶことができました。
- 社外の人脈が作れたこと、他社の考え方・視点に触れられたこと、他社の有能な人材がどの様なものか知ることができたことに価値あり。事業の軸でなく、全く違う入口から、共進化というテーマで掘り下げて研究、考えたこと（初めはとまどったが）が良かった。
- 普段の業務とはまた違う切り口で日本とアジアの発展について考えるきっかけとなり、自分自身の視野が広がった。
- 業務では関わりのない異業種の方と交流することができ、会社の枠を超えたつながりを持つことができた。
- 発表資料作成を通じてチームメンバーと協力、切磋琢磨することで、通常業務において得られない刺激を得られた。
- 自身は海外事業に関わるようになったばかりで、ASEAN諸国への渡航経験も無かったことから、本フォーラムを通じて、当事業の進出国の現状を見聞きすることができたことも有意義だった。
- 渡航経験のない国に訪問し、このプログラムでないと会えないような人たちと交流することができ、大いに見聞を広めることができたと感じている。
- 今回、プレゼンテーションで社会課題を扱う中で、自社の事業の社会貢献を見つめ直し、自らの業務とのつながりを考える良いきっかけとなった。

インタビューの続きはホームページでご覧いただけます。

アジア共・進化リーダーズフォーラム

検索



JMA Management Institute 2019

良質な出会い、対話、体験、気づきが、
人間として、リーダーとして、経営者としての軸を磨く

第5期

“アジア共・進化” リーダーズフォーラム

アジアと共に進化し、次の豊かさを創り出すための構想力の醸成

会期

2019年6月～11月
(6回会合、うち海外1回。合計14日間)

対象

ASEANを軸に海外事業を担うビジネスリーダー、
幹部およびその候補者(部長・課長層)

会場

東京およびASEAN

定員

12名程度

“アジア共・進化” リーダーズフォーラムお申し込みについて

参加申込規定はお申込みページにご覧いただけますので確認、同意のうえお申込みください。

コース名	会員区分	全日程 14日間		2名参加の内、 1名ASEANから参加の場合
“アジア共・進化” リーダーズフォーラム	法人会員*	¥1,100,000- /1名(税抜)	¥1,900,000- /2名(税抜)	¥1,650,000- /2名(税抜)
	会員外	¥1,350,000- /1名(税抜)	—	—

*法人会員とは、一般社団法人日本能率協会の法人会員を指します。 本事業開催最終日の消費税率を適用させていただきます。
法人会員ご入会の有無につきましては、右記HPにてご確認ください。 <https://www.jma.or.jp/membership/>

(参加料に含まれるもの)

●テキスト ●合宿を伴う場合は、宿泊費(国内)
※但し、プログラム上必要な場合に交通・食事を手配いたします。 ※一部のコースは宿泊費実費を別途申し受けます。

参加申込後の取り消し(キャンセル規定)

お申込み後、参加者の都合にてキャンセルされる場合、下記のとおりキャンセル料を申し受けますのでご了承ください。
なお、キャンセルのお申し入れは、必ずメール (info-jmi@jma.or.jp) にてご連絡ください。

開催30日前～8日前(開催日を含まず起算) …… 参加料の10%
開催7日前～前日(開催日を含まず起算) …… 参加料の50%
開催日当日 …… 参加料の全額

プログラム内容のお問合せ先

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
一般社団法人日本能率協会 経営・人材革新センター
JMI (マネジメント・インスティテュート) 事務局
TEL: 03-3434-1955 E-mail: info-jmi@jma.or.jp
HP: <http://jma-mi.com/>

Webサイトからお申し込みください

1



パソコン(各種検索サイト)から直接で
マネジメント・インスティテュート
もしくは、<https://jma-mi.com>

※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申込みが難しい方はマネジメントスクールまでお電話にてお問い合わせください。

TEL: 03(3434)1955

2



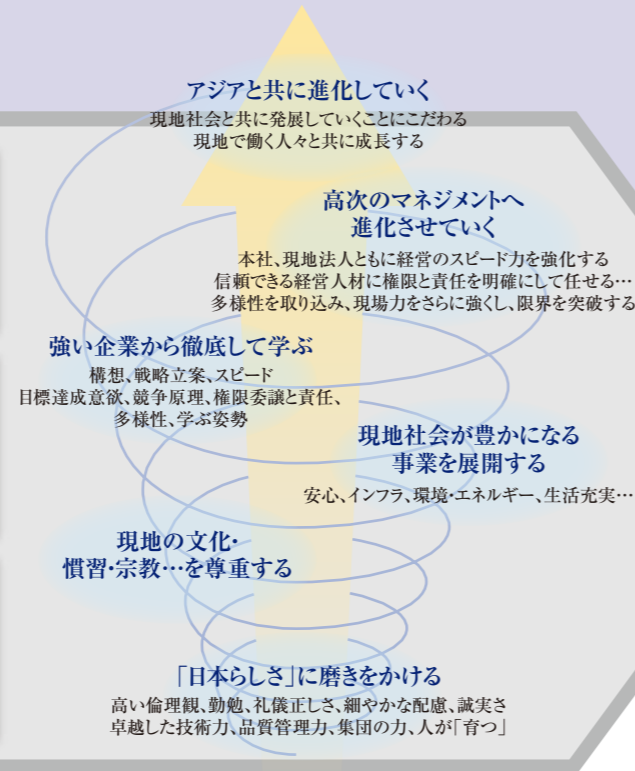
スマートフォン
タブレットから



“アジア共・進化”リーダーズフォーラム

アジアと共に進化し、次の豊かさを創り出すための構想力の醸成

ASEAN地域の社会課題解決を通して、
当該地域と日本および日本企業の双方にとって新しい価値を創出(共・進化)する



特長1

現地・現実・対話

アジアの中でも特に変化と成長が著しいASEANでフィールドスタディを行い、現地の課題やニーズを自らの五感を使って把握します。

特長2

相互研鑽

日本人の参加者同士、およびASEANフィールドスタディで出会う人々と経験や知恵を出し合うことで、新しい価値を創出します。

特長3

自社事業の具体的検討

チーム研究による社会課題解決プロジェクトだけでなく、そこから得た解決策や考え方を自社のビジネスにどう活かすかまで落とし込みます。

主な対象者

- ASEANを軸に海外事業を担うビジネスリーダー、幹部およびその候補者(部長・課長層)
- CSV、SDGs等、ソーシャルビジネスを企画、推進する方々
- グローバル事業を担うリーダーとして視野を広げ、視座を高めた方々
- 参加者の平均年齢 46.6歳
- 主な参加者の役職
海外事業部・国際事業部、広報・総務課長
経営企画部 部長、事業開発部門 部長・課長
営業マネジャー 等



マレーシア・マハティール首相との対談風景(2018年)



2018年度海外フィールドスタディ訪問先

- 〈マレーシア〉 マハティール首相表敬訪問、マレーシア日本人商工会議所、InvestKL、Perodua、DEWINA HOLDINGS、Royal Selangor
- 〈フィリピン〉 貿易産業省 副大臣面会、Philippines-Japan Economic Cooperation Committee、SM Group

ファシリテータ



藤原 雅俊
一橋大学大学院
経営管理研究科 准教授

2005年に一橋大学大学院商学専攻科博士後期課程を修了し、京都産業大学経営学部専任講師、准教授を経て、2013年より現職。その間、2010年から2011年にかけて、コペンハーゲン・ビジネス・スクールにおいて在外研究を実施。また、2018年にはマレーシアを中心としてH系企業のASEAN展開に関する長期現地調査を実施。

経営戦略やイノベーションなどの経営現象に主たる関心を抱きながら、1) 多角化企業のイノベーションメカニズム、2) ビジネスモデルの設計とその動的的影響、そして3) 戦略と組織の相互作用、といったテーマについて調査研究を行う。

プログラム概要 (2019年度予定)

プログラム(全6回・14日間)			
セッション	会期	テーマ	場所
事前	5月	<ul style="list-style-type: none"> ■プロフィールシート作成・提出 ■自社のASEANビジネス現状と課題整理・提出 	
1	6月 20日(木) 21日(金) 2日間	<p>Warming-up</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オリエンテーション(フォーラムの進め方等)、自己紹介 ●チーム形成・課題共有 ●講義・討議「ASEANにおけるソーシャルイノベーション」 -講義: ソーシャルイノベーションとは何か(基本と事例) -討議: わが社のソーシャルイノベーション事例 ●チーム研究 仮説設定 ●懇親会 	東京
2	7月 26日(金) 27日(土) 2日間	<p>ASEANの経済・社会理解</p> <p>1日目 ●情報提供・討議 「ASEAN経済連携の変化」 ●渡航国に関する情報提供・討議 ●チーム研究</p> <p>2日目 ●午前 チーム研究 仮説検証方法の検討 ●午後 チーム研究 研究経過報告&フィードバック 海外フィールドスタディ準備</p>	東京
3	8月 25日(日) 31日(土) 7日間	<p>現地・現実・対話(仮説検証) 海外フィールドスタディ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現地社会課題の把握 現地政府機関訪問&ディスカッション フィールドワーク: 現地の生活の様子を見る ●現地社会課題への取組事例 ソーシャルイノベーションに取り組む企業/NPO訪問&ディスカッション ●現地社会課題に対するアプローチ策立案 [チーム単位] 事前に立てた仮説が、現地スタディによって検証できたか、その結果どのような変更や、更なる具体策の立案が必要になったかを明らかにする。 	ASEAN
4	9月 27日(金) 1日間	<ul style="list-style-type: none"> ●ASEANセッション振り返り ●チーム研究 	東京
5	10月 19日(土) 1日間	<p>フィールドスタディレビュー</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「第3セッションでの仮説検証結果と論点整理」(全体&チーム別討議) ●中間報告会 	東京
6	11月 8日(金) 1日間	<p>成果創出 チーム研究成果報告会</p> <p>「我々の考える日・ASEANの“共・進化”策とは」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●午前: チーム別発表準備 ●午後: チーム別&個人別プレゼンテーション、アドバイザー講評、懇親会 	東京

※日程・プログラム内容等は変更になる場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。

第1~4期(2015~2018) 参画企業

- 株式会社IHI、旭化成株式会社、SCSK株式会社、ウイングアーク1st株式会社、サントリーホールディングス株式会社、JNC株式会社、新日鉄住金ソリューションズ株式会社、ダイキン工業株式会社、株式会社竹中工務店、東京急行電鉄株式会社、東京地下鉄株式会社、TOTO株式会社、戸田建設株式会社、日本総合住生活、日本通運株式会社、日本ハム株式会社、富士電機株式会社、株式会社フジタ、株式会社フジマック、株式会社三井住友銀行、三菱商事株式会社、ヤマトホールディングス株式会社、株式会社リコー、株式会社良品計画

2015~17海外フィールドスタディでの訪問先(順不同・敬称略)

- 〈インドネシア〉 ERIA、APINDO、Salim Group、Jakarta Japan Club、AEON Indonesia
- 〈シンガポール〉 リークワンユー公共政策大学院(シンガポール国立大学)、EDB、SBF、SMF、Microsoft、Keppel、Rolls-Royce、P&G
- 〈ミャンマー〉 YOMA STRATEGIC HOLDINGS、エデン・グループ、SHWE YAMONE MANUFACTURING、ミャンマー商工会議所連盟
- 〈タイ〉 タイビパレッジ(TCCグループ)、タイ工業連盟(FTI)、ダマサート大学、タイ保険省
- 〈フィリピン〉 Institute of Corporate Directors、アクセンチュアフィリピン、日立アジア、Metro Retail Store、国家経済開発庁、貿易産業省
- 〈カンボジア〉 ロイヤルグループ、サンライズジャパン ホスピタル、カンボジア若手起業家協会、カンボジア商工会議所